

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	大伏在静脈逆流に対するシアノアクリレート塞栓術における全長治療の有用性の検討
研究責任者（所属名）	高松 正憲（心臓血管外科 部長）
本研究の目的	下肢静脈瘤に対する治療として、レーザーを用いて静脈を閉塞させる血管内レーザー焼灼術や、医療用接着材を用いて静脈を閉塞させるシアノアクリレート塞栓術が行われています。 当院では、大伏在静脈に逆流を認める下肢静脈瘤に対して、これらの治療を行っています。シアノアクリレート塞栓術では、通常は膝周囲から静脈を穿刺して治療しますが、症例によっては、より末梢から穿刺し、穿通枝を含めて広い範囲の大伏在静脈を治療する方法を行っています。 本研究では、シアノアクリレート塞栓術で広い範囲を治療した患者さま、通常の範囲を治療した患者さま、および血管内レーザー焼灼術を受けた患者さまの診療情報を比較します。治療前後の症状や超音波検査所見、治療後の経過などを調査することで、大伏在静脈を広い範囲で治療することの有用性について検討し、今後の適切な治療方法および治療範囲の選択に役立てることを目的としています。
調査データの該当期間	2025年8月から2026年7月まで
研究の方法 （使用する試料等）	●対象となる患者さま 2025年8月から2026年7月までに当院で、大伏在静脈に逆流を認める下肢静脈瘤に対して、血管内レーザー焼灼術またはシアノアクリレート塞栓術を受けた患者さまを対象とします。 ただし、高位結紮術を施行した患者さま、過去に治療を受けた下肢静脈瘤に対する追加治療としてこれらの治療を受けた患者さま、および大伏在静脈以外を主な治療対象とした患者さまは対象となりません。 ●利用する情報 年齢、性別、体格、既往歴、下肢静脈瘤の重症度や症状に関する診療情報、治

	療方法、治療範囲、手術記録、超音波検査所見、治療後の経過、治療に関連する合併症および追加治療の有無等、通常診療の中ですでに得られている診療情報を利用します。 本研究のために新たな検査や治療を行ったり、患者さまに新たな受診や情報提供をお願いしたりすることはありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は除いた状態で取り扱います。 研究成果は学会や学術論文等で発表する予定ですが、その際も患者さま個人を特定できる情報は一切公表しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：心臓血管外科 古賀 佑一
備考	データの利用に同意されない場合、以下の期限までにお申し出ください。 申し出期間：2027 年 7 月まで